

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立平野小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

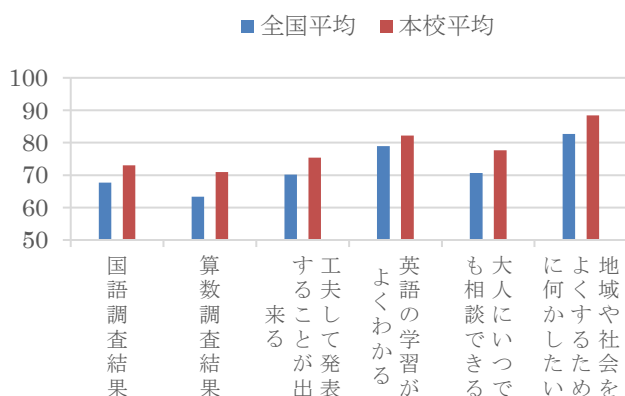
【結果について】

《結果の概要と本校の強み・弱み》

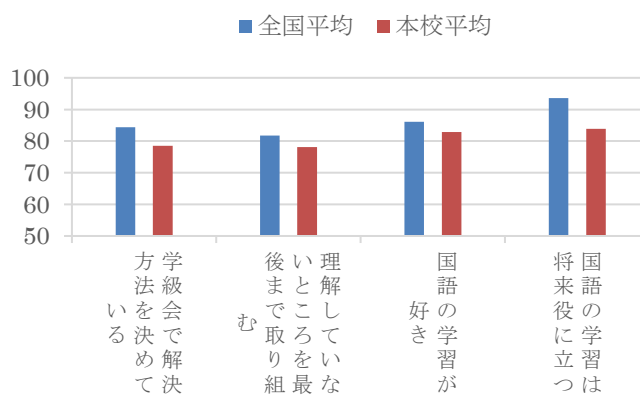
- 全国の平均正答率と比較してみると、国語、算数ともに全国平均を上回っており、概ね結果は良好といえる。
- 地域や社会をよくするために何かしたいと考える児童の比率が高い。
- 自分で決めたことをやり遂げたり、計画を立てて勉強したりできる児童の比率が高い。
- 英語の学習がよくわかったと回答している児童の比率が高い。
- 先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答している児童の比率が高い。
- 学級会で話し合い、解決方法を決めていると考えている児童の比率がやや低い。
- 理解していないところを先生に聞いて最後まで取り組もうとする児童の比率がやや低い。
- 国語の学習が好きであったり将来役に立つと思っていたりする児童の比率が低い。

◇強み・弱みレーダーチャート◇ ※本校の傾向を見るためのものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。

平野小学校の強み



平野小学校の弱み



※グラフは全国平均正答率・回答率と本校平均正答率・回答率のポイント差に基づいて作成しました。

【指導の充実に向けて】

- 学校教育目標「かがやけ平野の子どもたち」～人と関わり学べ！遊べ！平野にときめけ！～を念頭に、今後も地域社会と教育課程と連携した教育活動等を継続していく。
- 学校で統一した指導を行うために、基本に戻り、学校のきまりを「見える化」して、保護者や地域と連携し、全学級で足並みをそろえて指導をすることで、児童達にとって安心して学ぶことができる学校づくりをめざす。
- 国語科の勉強が好きではないと回答している児童が多いことを踏まえ、自分の考えを文章にすることへの楽しさを感じたり、人との関わりや体験を通してコミュニケーション能力を高めたりする授業の改善に取り組む。また児童達同士で物事が解決できるための話し合いの機会を設定する。